10月14日・15日・16日
津軽の食と産業まつり

10月14日から16日までの3日間、克雪トレーニングセンターと屋外エントランス広場にて「津軽の食と産業まつり」が開催されました。

屋内は48、屋外は80もの企業及び団体様に出店して頂きました。

会期直前まで出店企業を探して、お声がけしてくださったYEGメンバー、市役所及びご協力頂いた皆様には本当に感謝申し上げます。ありがとうございました。

会期初日、屋外では開会式の後、弘前実業高校生によるブラスバンドやチアリーディング、屋内では三味線ライブと友好都市の群馬県太田市と北海道斜里町の物産コーナーで賑わっていました。土日は、屋外では各保育園の演奏やよさこい団体の演舞等で、屋内ではフラダンスやそば打ち体験等のイベントで盛り上がっていました。

来場者数では67,300人と前年に比べ5,200人ほど減りましたが、売上で昨年より上回っていたので大成功だったと思います。来年も皆様の協力のもと、事業に取り組んでいきたいと思いますので、ご協力をお願いします。

（殖産委員会 委員長　吉村 俊一）

11月13日
ビジネスアイデアコンテスト

11月13日、第３回ＨＩＲＯＳＡＫＩビジネスアイデアコンテストを開催しました。過去２回の開催で受賞された方々はそのビジネスアイデアを実現し、事業としています。そして今回も受賞された方が事業実現に向けて活動しています。

今年で最後になってしまった事業ですが、３年間でいくつかのビジネスアイデアが事業として実現した事はとても嬉しく思いますし、この事業は成功だったと思います。前任者の玉田さん、講師の西谷さん、そしてご協力して頂いた皆様へ感謝申し上げます。

（ＢＩＣ委員会 委員長　成田 圭介）

11月14日・15日・16日
全国会長研修会「かこがわ会議」

加古川市に隣接する姫路市に前泊し、現存12天守の5層姫路城を観光し、真っ白な漆喰壁が夕焼けで金色に輝き感動しました。その後、青森県連ナイトを姫路市内にて開催し堀越県連会長などと共に多くの青森県連メンバーで盛り上がりました。

翌日の会員総会において、次年度日本YEG会長予定者に岡山県連岡山YEGの吉田会長予定者が決まり、所信表明演説では非常に人情味があふれ人を惹きつけ魅力のある所信表明でありました。その後、前田会長や奈良岡次年度会長予定者はそれぞれの研修会へ参加し、全国のメンバーと共に想いを共有し全国に仲間づくりができました。

最終日の全体研修では、ビジネスプランコンテストの発表があり、新たな事業を考えるには検証を徹底的に行い組み合わせや小さなナンバー 1の積み重ね等が必要であると学び、とても充実した全体研修になりました。全国会長研修会を誘致するにあたり、何年も前から全国へ出向し様々な計画をされた加古川YEGや兵庫県連の皆様へ感謝申し上げます。

（専務理事　島川 聖栄）

2月24日・25日・26日
全国大会「北海道いわみざわ大会」

極寒地の北海道へ日本中からＹＥＧメンバーを集めようと岩見沢ＹＥＧ及び北海道連が計画しました。弘前ＹＥＧから前田会長や一戸直前会長を含め10名で参加して参りました。

岩見沢市内の宿泊施設では、全国から来られた大会参加者が多く、宿泊室が足りなくなり我々弘前メンバーは近隣の札幌市内へ前泊し、あわせて一戸直前会長や福井先輩の卒業を祝う会も開催しました。翌日の会員総会終了後の記念講演では、金メダリストの清水宏保氏から人生の金メダリストになるための講演がありました。

その後、分科会に参加し、極寒－10℃の屋外での大懇親会には我々弘前メンバーもダウンやコートなど重ね着をして参加し、楽しい経験をする事が出来ました。最終日の記念式典では、全国大会の厳粛な設えにより大会テーマの泰山北斗を体感する事が出来ました。

大会運営にあたり岩見沢ＹＥＧメンバーや北海道連の皆様へ感謝申し上げます。ありがとうございました。

（専務理事　島川 聖栄）

3月4日・5日　第４回東北ブロック
ＹＥＧフットサル大会弘前大会

3月4日・5日の2日間、青森県立武道館にて第4回東北ブロックYEGフットサル大会弘前大会が開催されました。東北各地から(一部全国から)フットサル好きなＹＥＧメンバーが集まり、フットサルを通じて大いに交流を深めました。また４日の夜は大懇親会、2次会と弘前の夜を堪能してもらいました。

大会運営にあたっては、サッカー協会様やブランデュー弘前様にもご協力をいただき、無事に大会を終えることができました。本当にありがとうございました。

前田大会会長のもと「つながる絆」をテーマに掲げた大会でしたが、東北各地の多くのＹＥＧメンバーとつながり、より一層絆を深めることができました。(弘前ＹＥＧサッカー部 マネージャー　中村 好孝)

弘前YEG
轍 ―わだち―
vol. 70
2017.3.15
発行所／弘前商工会議所青年部　弘前市上鞘師町18-1（弘前商工会議所内）TEL：0172-33-4111　発行人／前田 典子　編集／広報委員会

２年間お疲れ様でした!～２年間を振り返って～

弘前商工会議所青年部
平成２８年度 会長
前田 典子

振り返ると、月並みですが「あっという間の二年間でした。」という言葉が頭に浮かびます。ですが、その途中は決してそのようには思えませんでしたし、この果てしない先の見えない旅の終わりは本当に来るのだろうか？と感じることもしばしばでした。

「会長というのは他の誰よりもほんの少しだけ多く会や会員のことを考える人である。」教えて頂いた方、「役が人を育てるのだ」と励まし導いて頂いた先輩方。「前田丸を支える！」と言って皆を乗せて出航した船の危なっかしいほどつたない私の舵取りを信じ、盛り上げて頂いた理事の皆様。男も女もなく、役を超え、企業の枠をも超え、「つながり学ぶこと」を貫いてくださった「人間力のある」尊敬すべき皆様に心の底から感謝をしております。

皆様のおかげで、未熟ながらも会長という役目を全うできた事は、私個人の誇りとなり今後の励みとなります。二年前「会長を終えた後の清々しい景色を見てみたい！」と漠然と感じた私ですが、思えば今だからわかる事があり、考え方や思いはやはり変化しています。まさに行動することで人は成長し進化する。そして商工会議所青年部はその学び舎であると思います。

最後に、どうか皆様がこれからも自らの企業との両立をはかりながら、地域に貢献し、学び、豊かな次代へとつながることを祈念いたします。二年間ありがとうございました。

平成28年度 月例会報告

8月例会　「ボウリング例会」

８月25日親睦委員会担当例会は昨年に続き土手町アサヒボウルにて「親睦ボウリング大会」と題して開催しました。

昨年はハンデを設けたものの圧倒的に男性が強く、女性会員はしらけていたのではと感じていたところ、前田会長から女性のハンデを年齢にするというアイデアと後押しを頂きました。結果、会長を含む女性３名が上位入賞してバランスのとれたゲームになったと思います。

その後の懇親会でも会長と専務がペアで新入会員に声掛けをしてくださり、とても良い雰囲気の例会になったと思います。

（親睦委員会 委員長　橘 秀孝）

9月例会　「将来の夢コンクール」

９月例会を殖産委員会で担当する事になり、例会で食と産業まつりで実行している『将来の夢コンクール』の作品の二次審査をすることになりました。

まず、『将来の夢コンクール』とは市内の小学５年生に将来の夢について、絵と作文を書いてもらうコンクールです。

近年は実行委員会で審査をしていましたが、全体事業という事もあり実行委員会に所属していないＹＥＧメンバーにも審査会に参加してもらいたく例会の場を借りて開催する事になりました。

今回から、選考理由も書いてもらい、上位入選の作品は掲示する際にその理由も添える新たな試みもしました。多くのメンバーが参加することにより、様々な選考がされ良い結果になったと思います。

（殖産委員会 委員長　吉村 俊一）

10月例会　講師例会～五感で感じる例会～

弘前商工会議所青年部会長でPetitbourの前田典子氏を講師にいつもの机と椅子は一切なくヨガマットとキャンドルのやさしい灯りとお香の香りに包まれたホールで瞑想とヨガを体験しました。

前田さんの柔らかな声の指導のもと呼吸法を学んだり、それぞれのペースでヨガを体験したり、メンバーに問いかけながらの講話でホールに一体感が生まれたように感じました。

例会後の生活にも瞑想やヨガを取り入れたメンバーもいらっしゃるようで、実のある例会を開催できたと思います。スッキリとした表情で懇親会に向われるメンバーがとても印象的でした。前田会長ありがとうございました！ナマステ！　（クリエイト委員会 委員長　米村 和香子）

11月例会　『ギャップのある弘前愛』

～弘前商工会議所青年部 VS 大学生～

若者の地元定着、地元就職率が低い理由の1つとして、地元企業が求める人材像と地元大学生が求める企業像との間に大きなギャップ(隔たり)が存在し、その解消を目的に「ギャップディスカッション」と題し、弘前市の大学生と青年部とのお互いの立場からの意見を交換しました。

大学生が抱いている思いを実際に聞くことができた貴重な機会となりました。　（ビジョン推進委員会 委員長　葛西 晋）

12月例会　「クリスマス例会」

12月例会は恒例の「クリスマス例会」、今年も弘前パークホテル13階ステラにて開催しました。昨年のアトラクション主体ではなく、大人な雰囲気の中で親睦を図り楽しんでいただこうという考えのもと、市内の夜景を一望できる中、生バンドの演奏による照明を落としたムーディーな演出で行いました。

いつもと違う流れだった為か、初めはぎこちなさも感じましたが、時間が進むにつれ会話も弾み楽しんでいただけたのではないかと思います。最後に、御協賛いただいた会員の皆様及びご協力を賜りました方々へ心からお礼申し上げます。　（親睦委員会 委員長　橘 秀孝）

1月例会　公開講師例会　『未来を見据えて　チャンスを掴む方法』～ロボット社会の生き方～

1月公開講師例会は、ホテルニューキャッスルにて株式会社ユニバーサル・ロジック代表取締役社長 石原潤一氏による『未来を見据えてチャンスを掴む方法』～ロボット社会の生き方～を開催致しました。

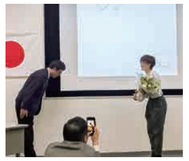
石原潤一さんが起業しＦＣ展開したヘコミ救急隊から現在ロボット教室を開校するに至るまでを凝縮し講演していただきました。今後のロボット社会についても大変興味深い内容で、これからの仕事を考え直す絶好の機会となりました。

ソフトバンクアカデミアで習得したスライド140枚を使用しての講演スタイルは圧巻でした！ご協力いただきました皆様に感謝申し上げます。ありがとうございました。　（研修委員会 委員長　漆澤 知昭）

2月例会　～前田年度２年間を振り返る～

２月例会は、前田年度２年間をベスト10方式で振り返り、次年度へつなぐ例会として開催させて頂きました。

前田会長の思い出に残っているベスト10とそれ以外のベスト10と同じぐらい価値ある事業等を映像で振り返り、前田会長１年10ヶ月の総括と奈良岡次年度会長予定者へ手紙形式で思いを伝えて頂き、前田会長が平成27年4月よりつながるとお話していた事が、例会で実現できました。また、参加者が80名を超える例会となりました。　（街の絆力委員会 委員長　佐々木 裕和）



平成28年度　イベント報告

ランチミーティング

たくさんのメンバーとランチを通してつながることが出来ました。何度も来て下さるメンバーもいて嬉しく思います。

毎回、和気あいあいと例会や懇親会とはまた違った一面を見ることができ、私自身が一番楽しんでいたように感じます。

ご協力頂いたお店の皆様と、ご参加頂いたメンバーに感謝致します。ありがとうございました。

（クリエイト委員会 委員長　米村 和香子）

9月16日・17日　東北ブロック大会いわて盛岡大会

東北ブロック内のYEGメンバーが集う１年に１回の大会であり、弘前ＹＥＧからは前田会長を含め19名で参加しました。盛岡駅周辺での開催で、アクセスも良くとても集まりやすい会場でありました。初日は東北ブロック役員会等の会議があり、地域社会の健全な発展を図るべき議論が続きました。

翌日の記念式典では、次年度東北ブロック野坂会長予定者や東北ブロック大会五所川原大会の予定が発表になりました。続いて記念講演では「不都合な真実」と題して、地方の現状においてあまりにも不都合が生じているという衝撃的な内容をお話しいただきました。

大懇親会のステージ上では、３月４日(土)・５日(日)開催の東北ブロックＹＥＧフットサル大会ＩＮ弘前のＰＲをする事ができ、多くのメンバーが来弘される事を願い、参加した弘前ＹＥＧメンバーも東北ブロックＹＥＧメンバーと固い絆を交わす事ができました。　（専務理事　島川 聖栄）

9月21日　大学生＆職業人交流会『業コン』

大学生と、弘前で活躍されているその道のプロ「職業人」とをつなげ、親睦を深めることにより、互いに見聞を広め弘前への愛着を深めることを目的に、飲食を交えたざっくばらんな交流会として、4回開催致しました。毎回場所や時間、手法をさまざまに変えながらの開催で試行錯誤でありましたが、いずれの回も非常に濃密な交流となりました。

それぞれの職業人の方の、仕事に対する情熱や弘前への想いを伝えて頂くことにより、これから社会に出て行くこととなる大学生の方々に、弘前で働くことの厳しさや魅力を感じて頂く機会となりました。

（ビジョン推進委員会 委員長　葛西 晋）

9月22日　Let's 岩木山登山！

登山を通して、メンバーの親睦を深め、絆強化を図るとともに、健康促進を！をテーマに16名で紅葉には少し早かった岩木山を楽しんで来ました。

山頂からぐるりと見える景色は少し雲掛かっていましたが、とっても綺麗でした。昨年同様、山頂で至福の珈琲をいただきました！美味しかったー！記念撮影もササっと済ませ下山です。せっかく登ったのに下山です。今来た道を戻ります。ちょうど良いですね。と今回初めて岩木山に登った方が口にされていました。そうなんです！９合目からの登山はちょうど良いのです。運動不足の方やお子様と一緒にはじめての登山にはちょうど良い。おススメです。

毎日、岩木山の見えるところで生活していて、登った事がないと言う方はいらっしゃらないと思いますが、ぜひ登ってみてください！もっと岩木山が好きになりますよ！　（クリエイト委員会 委員長　米村 和香子）

9月24日　Ｔｈｅ津軽三味線2016

Ｔｈｅ津軽三味線2016が、平成28年９月24日(土)に弘前市民会館大ホールにおいて昼の部と夜の部、２回に分けて開催されました。

恒例の300人奏者による大合奏など、津軽民謡・南部民謡や手踊り、フラメンコと津軽三味線のコラボや吹奏楽と津軽三味線のコラボで会場が盛り上がりました。

昼の部、夜の部も満席になり、大勢のお客様に楽しんで頂きました。

Ｔｈｅ津軽三味線2017も、今年の９月に開催致しますのでご期待下さい。

（事業支援委員会 委員長　渋谷 和生）